

第12回大会・総会

場所 北海道大学農学部（北海道札幌市北区北九条西9丁目）

日時 12月10日（土）9：00 ～ 11日（日）17：00

参加申し込みは[こちらから](#)

【1日目、12月10日（土）】

1. 受付開始 8：30（大講堂前）

2. 開会あいさつ 9：00～9：30
 - 1) 学会会長
 - 2) 大会実行委員長
 - 3) 北海道農政部食の安全推進局

3. 全体セッション1 『東日本大震災・原発災害に有機農業は何を提起できるか』 9：30～12：00

コーディネーター：谷口吉光氏（秋田県立大学）、古沢広祐氏（國學院大

学)

1) 「有機農業サイドとして、原発事故・放射能汚染をどう受け止めるか」高橋巖氏 (日本大学)

2) 「放射性汚染の状況報告と、対策に関する指針の提示」野中昌法氏 (新潟大学)

3) 「流通・消費サイドでの状況報告と、取り組み状況と課題の提示」戎谷徹也氏 (大地を守る会)

4) 「被災地の農業再生・地域再生に向けて何が必要か」中島紀一氏 (茨城大学)

4. 全体セッション2 『北海道における有機農業の多様な展開』 13:30~

16:00

コーディネーター：菊地治己氏 (農業活性化研究所)

1) 「消費者と結んだ有機農業の展開」長良幸氏 (いしかり地産地消を楽しむ会)

2) 「自家労力に合わせ有機・特別・慣行栽培を組み合わせる」佐藤稔氏 (有限会社田からもの)

3) 「有機農業と農業生産法人の展開」瀬川守氏 (当麻グリーンライフ)

4) 「日本初の有機農協設立と諸活動」小路建男氏（北海道有機農業協同組合）

5. 全体セッション3 『日本国内における有機畜産の可能性と課題』 16:30
~18:00

コーディネーター：大山利男氏（立教大学）

1) 「有機認証の取得の経緯と問題点：有機牛初出荷を終えて」小野泰氏（北里大学）

2) 「北海道酪農と有機酪農の展開」荒木和秋氏（酪農学園大学）

6. 懇親会 18:30~20:00 きやら亭

【2日目、12月11日（日）】

9:00-10:00 総会

10:00-12:00 個別報告

12:00-14:00 ポスター報告

14:00-16:00 個別報告

個別報告およびポスタープログラムは[こちらをクリック](#)

【3日目、12月12日（月）：エクスカージョン】

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

八雲牧場（有機牛生産牧場）

049-3121 北海道二世郡八雲町上八雲751 (<http://www.kitasato-u-fsc.jp/index.html>)

12/12（月）9:15 八雲駅集合

牧場見学

-12:00 八雲駅解散

* JR 八雲駅（函館本線）にて現地集合，現地解散といたします。

大会会場（札幌）からの移動や宿泊は各自で予約願います。

八雲駅までの特急電車による所要時間は，函館駅から1時間弱，札幌から2時間強となります。大会2日目（12/11）に八雲駅周辺で前泊することをすすめますが，札幌に宿泊されている方は，当日（12/12）朝，札幌7:00発スーパー北斗2号をご利用ください。

八雲駅から牧場への移動は現地でタクシー等を利用する予定です。その場で実費がかかります。